

沿岸定線観測速報 ちば (2023年6月)

千葉丸：6月5～8日

千葉県水産総合研究センター
千葉県農林水産技術会議
令和5年6月16日

黒潮は、房総南方を離岸して東進後、向きを北東に変え、房総東方を接岸して流れていました(図2)。水温は、銚子・九十九里及び外房海域いずれも概ね平年並でした(表1)。

【詳細】

水温は、銚子・九十九里海域では水深0,50,100mで平年並、水深200mが平年よりやや高めでした。外房海域では、水深0mが平年よりやや低め、水深50,100,200mは平年並でした(表1)。

水深10,100,200mでは、比較的沿岸の海域に顕著な水温勾配(フロント)が見られました(図3)。それより下層の水深500mでは、10℃以下・塩分34.1PSU以下の低温低塩分水が分布していました(図3～6)。このような低温低塩分水は、この他に犬吠埼沖の大陸斜面上にも分布していました(図5,6)。

黒潮は、房総南方を離岸して東進後、向きを北東に変え、房総東方を接岸して流れていました。房総東方の黒潮縁辺付近では北東へ向かう2～3ノットの流れが見られました。また、外房沿岸では、矢印で示すような反時計廻りの渦流が見られました(図2)

クロロフィル濃度は、水深10mではごく沿岸が3μg/L以上と高めになっていました。一方、水深50mではこのような高いクロロフィル濃度は見られませんでした(図7)。

キンメダイ漁場の底層水温は、勝浦沖及び銚子沖いずれも前年より1～2℃高めでした(図8)。

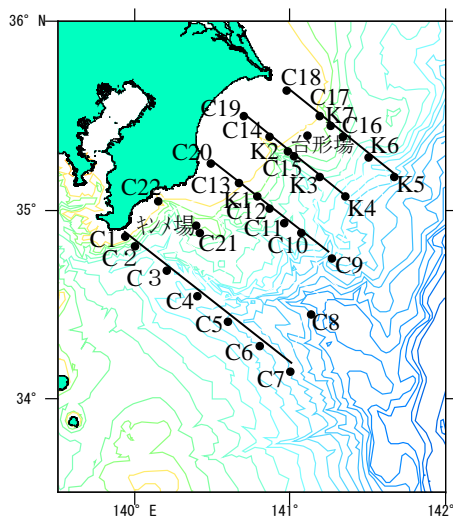


図1 調査点

線は北から犬吠埼，九十九里，太東岬，野島崎南東線

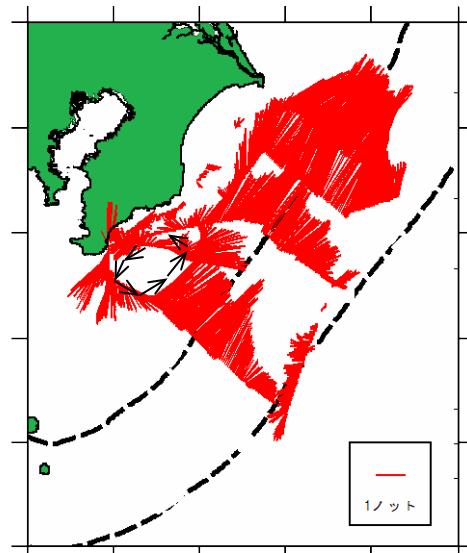


図2 黒潮流路(破線)と流況

表1 海域別平均水温(℃)と評価

海域	0m	50m	100m	200m
銚子・九十九里	20.29 平年並	18.28 平年並	17.12 平年並	14.82 やや高め
外房	20.38 やや低め	16.48 平年並	14.92 平年並	12.90 平年並

*水温評価点 銚子・九十九里海域：C14～20 計7点，外房海域：C1,3,11,13,21,22 計6点

*沿岸水温評価の目安(σ：標準偏差)

きわめて高め	2.0 σ～
高め	1.3 σ～2.0 σ
やや高め	0.6 σ～1.3 σ
平年並	0.0 σ～0.6 σ, -0.6 σ～0.0 σ
やや低め	-0.6 σ～-1.3 σ
低め	-1.3 σ～-2.0 σ
きわめて低め	-2.0 σ～

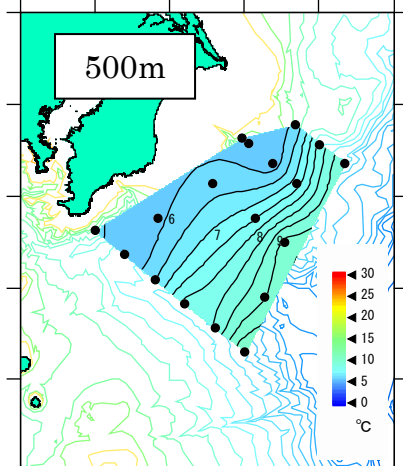
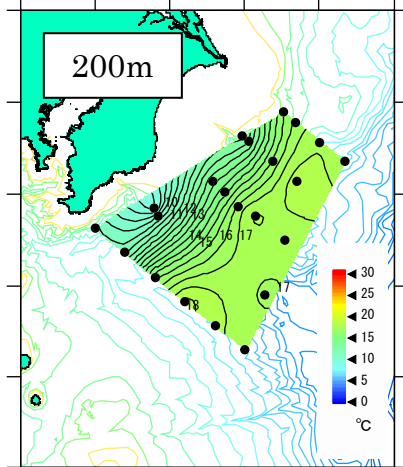
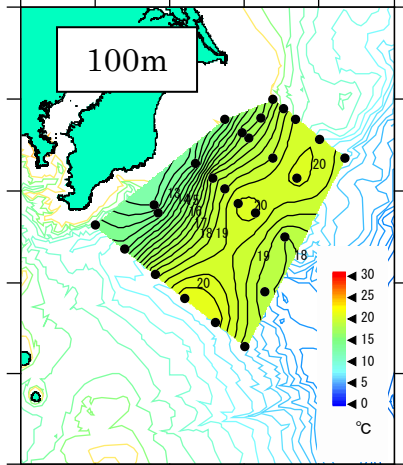
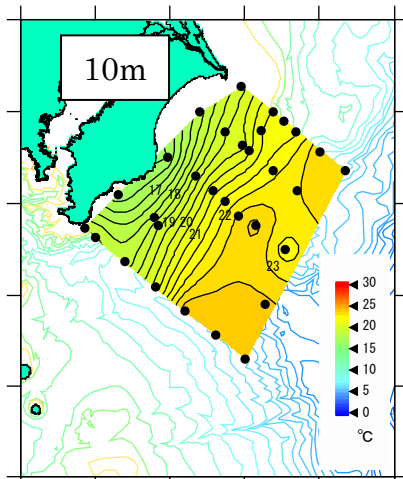


図3 水深別の水温分布

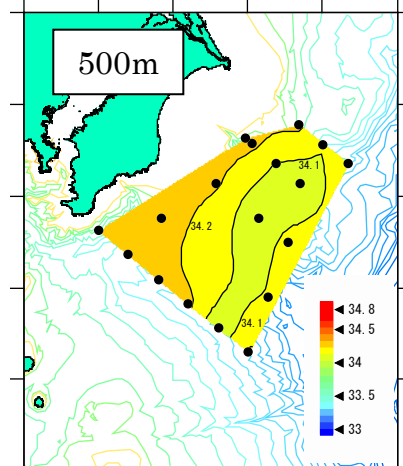
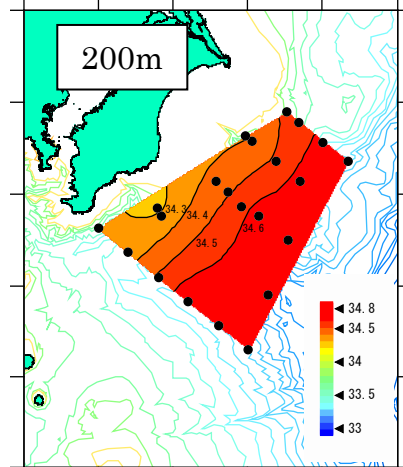
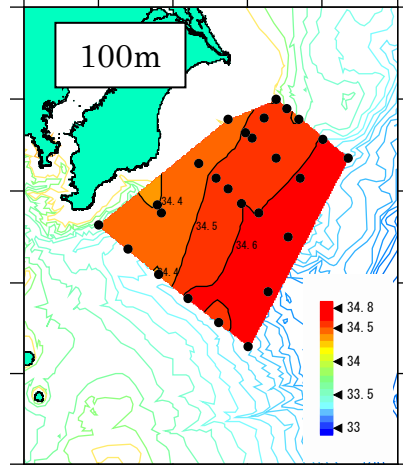
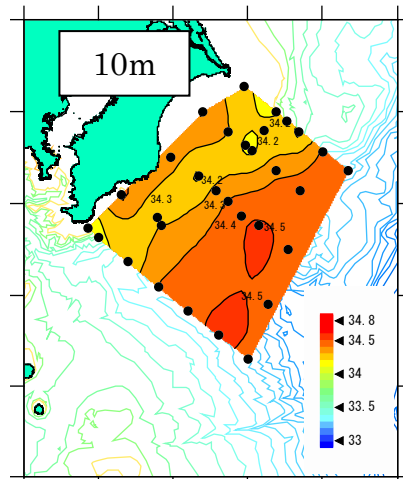


図4 水深別の塩分分布

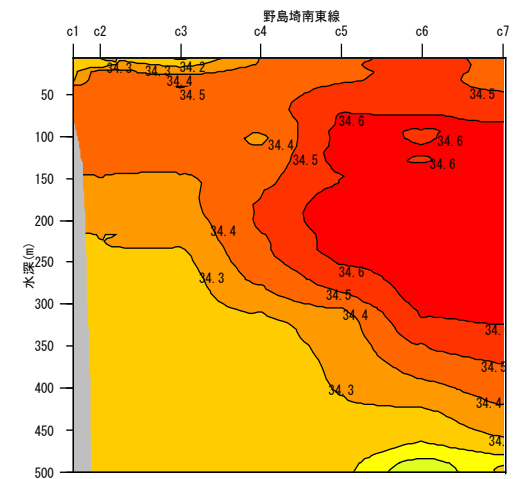
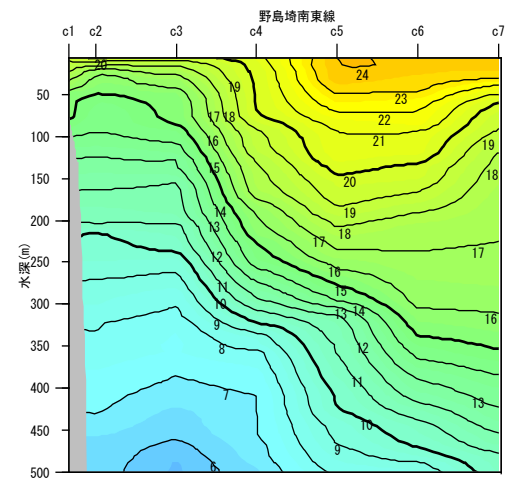
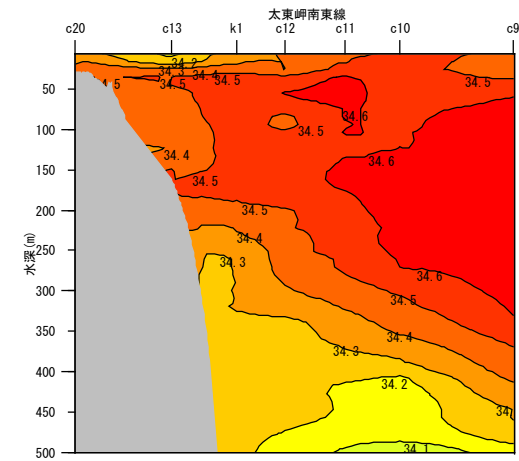
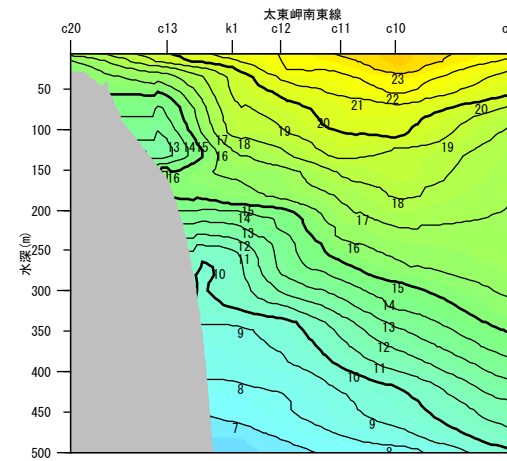
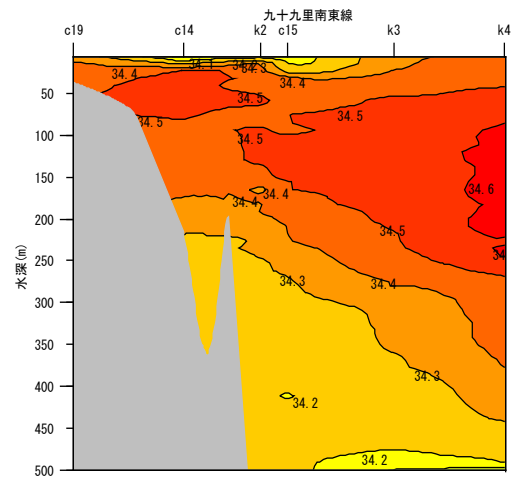
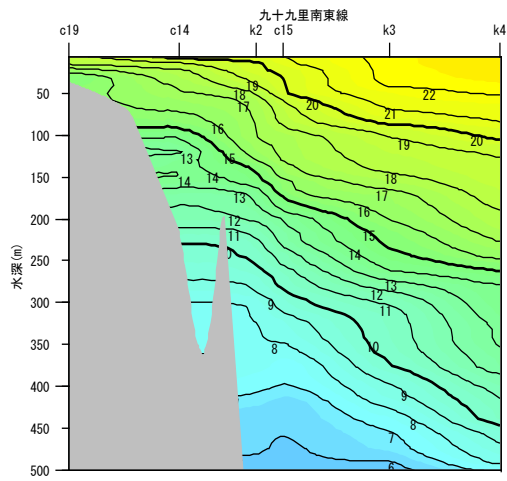
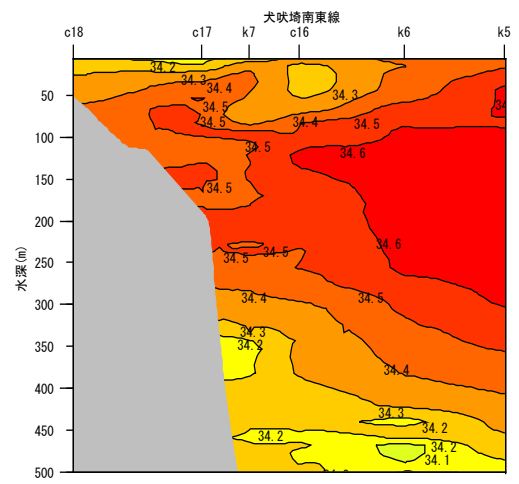
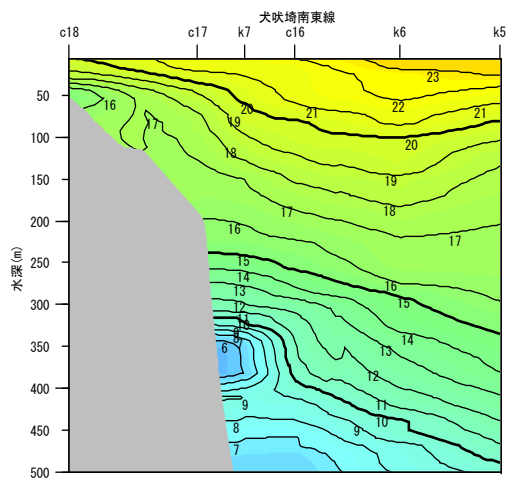


図5 水温鉛直分布

図6 塩分鉛直分布

上から犬吠埼，九十九里，太東埼，野島埼南東線（図1参照）

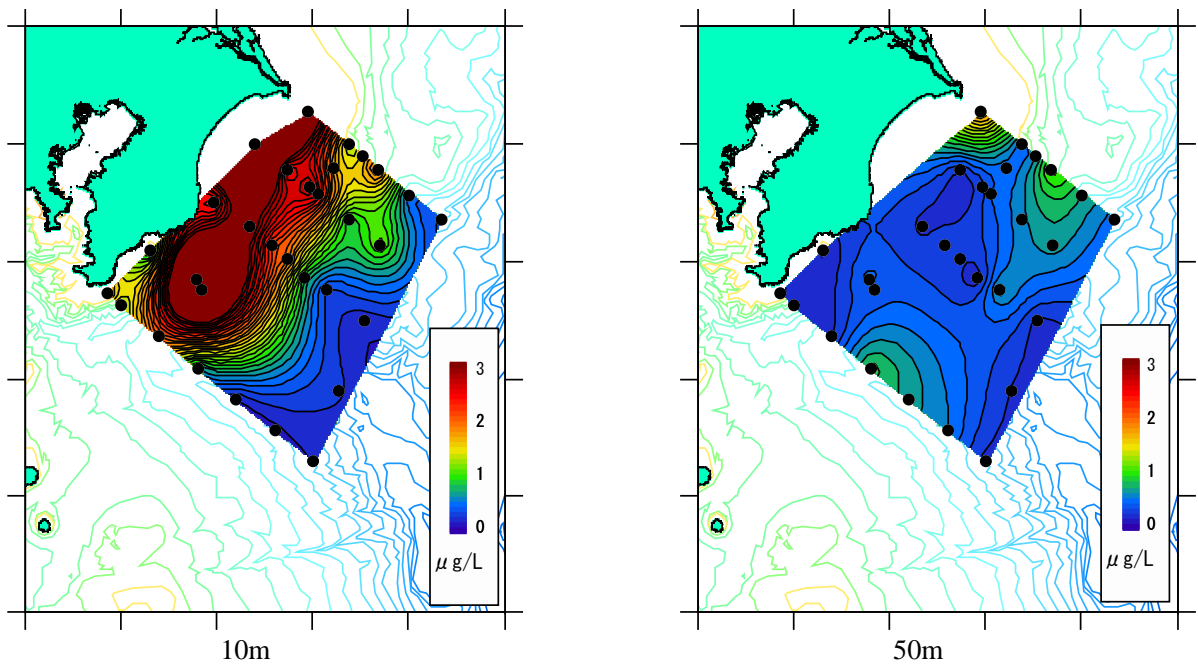
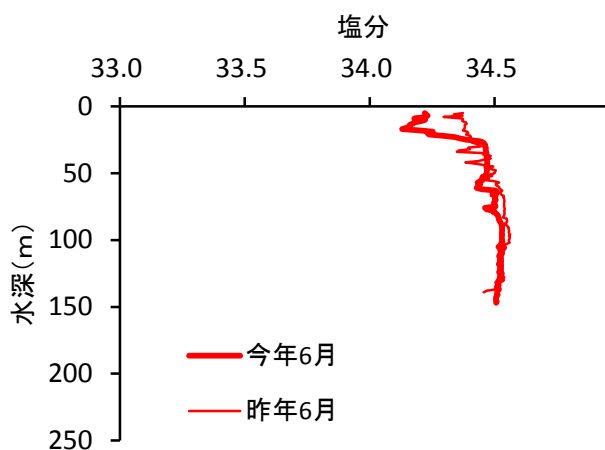
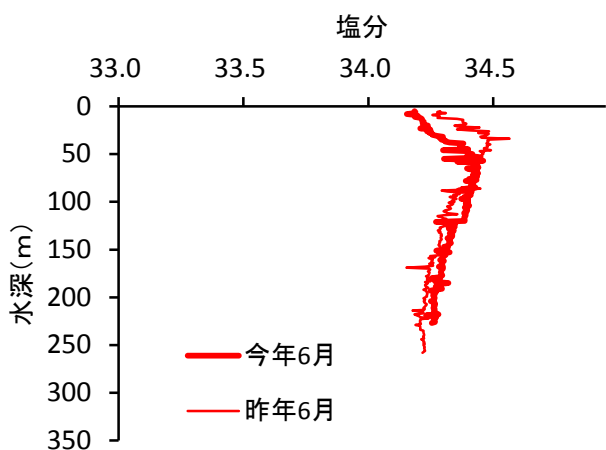
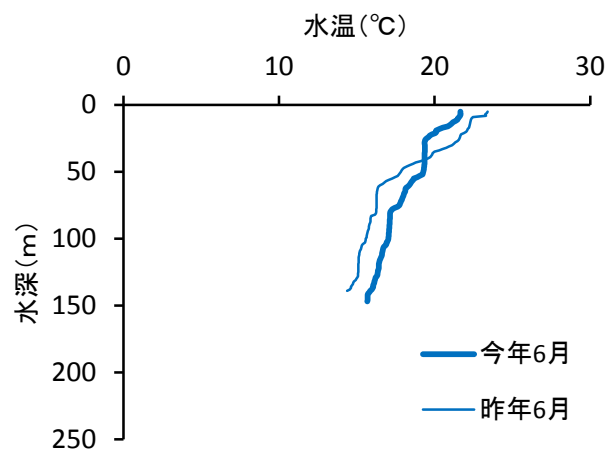
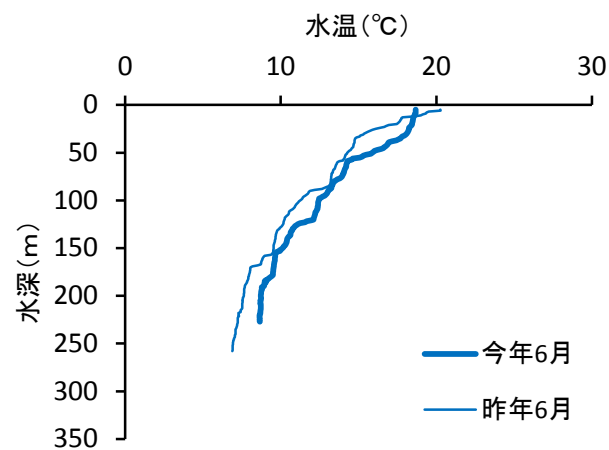


図7 水深別のクロロフィル分布 (単位: $\mu\text{g/L}$)



勝浦沖キンメ場

銚子沖台形場

図8 キンメダイ漁場の水温, 塩分鉛直分布 (青: 水温, 赤: 塩分)